

1

チョウを飼育するには

2

チョウを飼育するには

1 メス成虫を捕まえて、卵を産ませましょう



幼虫を見つけて育てる場合、寄生蜂・寄生蠅に寄生されている場合がありますので、成虫を捕まえて卵を産ませ、幼虫を飼育することをお勧めします。

まずはメス成虫を探しましょう。

### 時間帯によって最適な場所が変わる

午前

午後



3

#### ナミアゲハの場合

高槻では、住宅街を探すのが効率的です。

時間帯によって見つかりやすい場所が変化します。

- ・午前: 吸蜜用の花がある場所
- ・午後: 幼虫の食草がある場所

#### モンシロチョウの場合

高槻では、住宅街では見つかりにくいです。

キャベツや大根、菜の花の近くで見つかりやすいです。高槻にも小さな農園が住宅地の中にありますので、畑で作業している方に声をかけて捕らせてもらいましょう。その際、作物に傷をつけないように、細心の注意を払いましょう。

または、河川敷など雑草が多い場所を探すのも良いです。

### オス・メスの見分け方



4

採卵するためには、メスを捕まえる必要があります。

#### アゲハチョウの場合

アゲハチョウは大きな昆虫なので、交尾器の形状を見て判断します。

オスの場合、把握器といって、腹部先端が左右に開く構造をしています。指先で簡単にこじ開けることができるので、オスかどうか確認します。

#### モンシロチョウの場合

オスは腹部を横から指で強くつまむと、簡単にぱっくり開きます。ハサミのような感じです。

メスは開きません。

## オス・メスの見分け方



春型のオス



春型のメス

メスは前翅の付け根側半分が灰色になっている

写真: ぶてろんワールド  
<http://www.pteron-world.com/>

5

モンシロチョウの場合、前翅の色で見分けます。

オスは白っぽいです。

メスは黒っぽいです。付け根付近がグレーです。

写真は春型を引用していますが、季節型の差は小さいので、夏型や秋型でも同様の見分け方で問題ありません。

## 元気なまま連れて帰りましょう

三角紙+遮光できる箱



1



2



3

6

1. ノートや新聞のチラシなど、身近にある紙を用意

2. 捕まえた蝶の大きさに合わせて、紙を切る

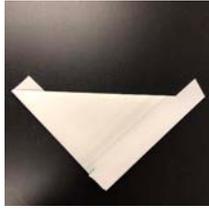
3. 端をはみ出させて、三角形に折る

## 元気なまま連れて帰りましょう

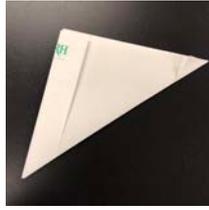
三角紙+遮光できる箱



4



5



6

7

4. はみ出している端を折り込む
5. 最後に耳の部分を折り込んで完成
6. 蝶を捕まえたら、三角紙を開いて、三角の長編の折り目内側に蝶の翅を当てて、元どおりに折れば、蝶が暴れなくなるので体力を消耗させずに持ち歩けます。

## 元気なまま連れて帰りましょう

三角紙+遮光できる箱



8

- 蝶を挟んだ三角紙は、お菓子の空き箱など遮光できる容器に入れます。真っ暗になると、蝶は夜だと思って動かなくなるので、さらに体力の消耗を抑えられます。
- 蝶を入れた箱は、日光が当たらないようにカバンの中に入れてみましょう。



9

元気なメス成虫を連れ帰ったら、卵を産んでもらいましょう。

### 成虫のご飯



10

アゲハチョウの場合

ティッシュの切れ端など吸水性のある紙や、脱脂綿にポカリスエットを染み込ませます。市販品をそのまま使えるので便利ですが、他社製の類似商品（スポーツドリンク類）はお勧めしません。

ストロー状の口器を丸めているので、爪楊枝などで伸ばして先端を餌に触れさせます。

飲み終わったら自分で口器を元の場所にしまうので、それまでは見守ります。

モンシロチョウの場合

アゲハチョウと同じでも大丈夫ですが、別の方法も紹介します。

蜂蜜を水で薄め、脱脂綿に染み込ませた状態で、アルミホイルで作ったお皿に乗せるという方法でも良いです。

## 採卵用の葉を用意

11



1

2

3

1. 切り口の面積が大きくなるように、斜めに枝を切ります。
2. 切り口に脱脂綿を当てて、アルミホイルをその後ろから当て、脱脂綿に水を染み込ませます。
3. 軽く押さえつけるような気持ちで、アルミホイルを閉じます。押さえつけがゆるいと、水が蒸発して枝と切り口の間で空間ができてしまい、葉が長持ちしなくなります。

## 採卵の方法

12



アゲハチョウの場合、100円ショップやホームセンターで販売されている、CDやDVDを補完するケースなど、小物入れが利用可能です。足場になるように、紙（ティッシュやペーパータオル）を下と壁面に配置して、食草の葉を置きます。

下の紙に霧吹きで水分を与えると、葉がより長持ちします。

モンシロチョウの場合、スーパーで市販されているカイワレダイコンをそのまま使用可能です。

カイワレ大根を買ってきて、容器の上部を少しだけ切って、緑色の葉が表に出るようにします（緑色の部分に卵を産みます）。

買って来たばかりのカイワレダイコンの根元のスポンジには、水が少ないので補給してください。スポンジの高さ

## チョウを飼育するには

2 適切な食草を与えましょう



13

基本的に、幼虫の飼育も採卵と同様の方法で行います。

ただし、容器内に敷く紙は、新聞紙だと幼虫が死んでしまうため、ティッシュや使い捨てペーパータオルなどが良いでしょう。

### アゲハチョウの場合

高槻市内では、ミカンや山椒は庭に植えてあることが多いのですが、枝を切る場合は持ち主の許可を得てからにしましょう。

葉を食べ切る前に新しい葉を入れて、一部を古い葉と触れさせておきます。

なるべく幼虫には触らないようにして、自分で新しい葉に移動するのを見守りましょう。

先端が尖っていないピンセットがあれば、エタノール等で消毒してから優しくつまみ、そっと移動させることもできます。

## チョウを飼育するには

2 適切な食草を与えましょう



14

### モンシロチョウの場合

採卵の時と同じで、市販のカイワレダイコンをそのまま使います。

卵から孵ってすぐは黄色い幼虫で、小さく弱いので手で触らないようにします。

緑色になってきた頃、新しいカイワレ大根に移します。細い絵筆を使って移すこともできるのですが、慣れないうちは時間はかかりますが、幼虫がいる葉ごと新しいカイワレ大根に持っていきます。

幼虫が自分で新しい葉に移動するまで見守ってあげてください。

脱皮を繰り返し大きくなってくると、時々カイワレ大根の中に落ちることがあります。拾い上げて青々しいところまで戻してあげてください。

チョウを飼育するには

3 蛹は放置して大丈夫



15

蛹が糸から外れてしまうこともよくありますが、そのまま下に放置して大丈夫です。

羽化した時に足場になるように、紙を入れておけば問題ありません。

湿度が低いと、翅をしっかり伸ばす前に固まってしまい、羽化に失敗することもありますので、足場の紙に霧吹きで水分を与えるなどして湿度を保つように気をつけましょう。

チョウを飼育するには

4 できれば、交尾させてもう一度採卵



16

無事に羽化したら、人工的に交尾（ハンドペアリング）を行って、もう一度卵を産ませることをお勧めします。

メスの腹部先端を使ってオスの把握器をこじ開け、交尾器を合わせておくと、十秒から数分で交尾が始まります。

## チョウを飼育するには

4 できれば、交尾させてもう一度採卵



17

交尾状態になると、オスから手を離しても動きません。

メスにぶら下がったままじっとしているので、足場の良いところにつかまらせてあげましょう。

そのまま30分~1時間程度、交尾状態が続きます。

18



また卵を産ませて、命は受け継がれていくものなのだ、ということを知っていただくとより良いのではないかと思います。

ただし、蝶の仲間は近親交配にとっても弱いという特徴がありますので、三世代位が限界です。ずっと飼育を繰り返したい場合は、交尾用に別のオスを捕まえてくることをお勧めします。

イベントにご参加いただきまして、どうもありがとうございました。